

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ

世界の窓



Vol.58

サンタクロース



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イートンさんです。

Hello! ローラです。いよいよクリスマスですね。街にはクリスマスキャロルが流れ、いたるところでイルミネーションやライトアップが施され、もう世界中はクリスマスムード一色です。そこで今回は、クリスマスの主役、「サンタクロース」についてスポットを当ててみたいと思います。

最初のサンタクロースは誰だったのでしょうか。多くの人々は280年に現在のトルコで生まれたキリスト教の**聖ニコラウス司教**だと考えています。彼は相続財産をすべて寄付し、貧しい人々や病気の人々を助けながら田舎を回り歩いたと言われています。

▽聖ニコラウス司教

聖ニコラウス司教が成し得た功績に関するさまざまな伝説があります。ある伝説では、彼は居酒屋の意地悪なコックが子供たちを漬物にして料理に出そうとしていたところから子供たちを救ったと言われています。もう一つの伝説では、貧しさのあまり3人の娘を身売りしようとしている父親から救いました。彼は真夜中にその家を訪れ煙突から金貨を投げ入れたのです。そしてこの金貨のおかげで娘の身売りが避けられたそうです。最終的には聖ニコラウス司教のイメージはウォーディン（またはオーディン）というドイツの異教徒の神と結びつけられてしまいました。



ドイツの部族は、ウォーディンがバルハラ（戦死した兵士の霊を招く大神殿）に入ることにふさわしい人間かどうか審査しながら白馬に乗って雲を渡ると信じていたそうです。ドイツの部族は毎年**12月にプレゼント**を交換する習慣があり、そのため異教徒の神ウォーディンがキリスト教徒になって、聖ニコラウス司教になったと言われています。この聖ニコラウス司教のイメージは特にオランダで有名になり、聖ニコラウス司教が亡くなった12月6日の命日には祝宴会が行われていました。12月5日の夜子どもたちが寝ている間、聖ニコラウス司教が白馬に乗って屋根を渡りながら、煙突の中にプレゼントを投げ入れると信じられていました。そして子どもたちは次の日の朝、靴下の中に隠されたプレゼントを見つけるのでした。聖ニコラウス司教はルネッサンス（14世紀）が始まるころまではヨーロッパで一番人気のある聖人でした。宗教改革（16世紀ヨーロッパに起こり、プロテスタント教会の設立を導いた宗教運動）や聖人への尊敬が失われ始めた後でも、彼の人気は続いていました。

それでは**サンタクロース**の発想はどのようにアメリカにやってきたのでしょうか?

1770年にアメリカへ移民したオランダ人の家族たちが、聖ニコラウス司教の命日を祝うために集まった記事がニューヨークの2つの新聞に掲載されました。このことによって聖ニコラウス司教のことが全米中に広まりました。サンタクロースと言う名前は聖ニコラウス司教のオランダ語の愛称である**シンター・クロース**から生まれたそうです。しかし、もともとの彼のイメージは大きく変化してしまいました。ある人は、彼は黄色いストッキングを履き三角の青い帽子を被っていると言い、またある人は、彼はパイプをくわえながら大きなつばのある帽子を被り、だぶだぶのズボンを履いていると言いました。さ

まざまな国で、聖ニコラウス司教のようにプレゼントを配る人が存在しました。みんなそれぞれがおもしろい方法でプレゼントを渡しています。1808年、アメリカ合衆国の作家、ワシントン・アーヴィングは聖ニコラウス司教の新しいイメージを作り上げました。ニューヨークに住むオランダ人についての風刺の中で、馬そりに乗って木々を飛び回り、気に入った子どもの家の煙突にプレゼントを投げ入れる陽気なオランダ人のようにサンタを表現していました。

1822年、米国の大学教授クレメント・クラーク・ムーアは聖ニコラウス司教の訪問に関する「クリスマスの前の晩」という詩を娘のために書きました。現在のサンタクロースの大部分のイメージはこの詩から生まれました。子供たちが寝ている間、8頭のトナカイが引くソリに乗って家を訪ねる聖ニコラウス司教は、ニコニコとして太った老人のように表現されていました。1881年政治漫画家**トーマス・ナスト**は、初めて現代的なサンタクロースを描きました。それは白ヒゲをはやしたにこやかな男性が、白い毛で縁取られた赤い服を着て、白い大きな袋にクリスマスプレゼントを入れて肩に担いでいる挿絵でした。また彼はサンタクロースが北極の作業場で妻のミセス・クロースと一緒に働くサンタクロースの姿を描きました。



△トーマス・ナストが描いたサンタクロース



現在では、上記のような現代的なサンタクロースには**サンタコン**と呼ばれる楽しいクリスマスイベントで会うことができます。

12月に世界中で数百人のサンタたちが色々な都市に押し寄せます。サンタコンに参加するサンタたちは知らない人にプレゼントをあげたり抱き合ったりします。古い掃除製品のペット・ボトルからお酒を飲んだり、ゲームをしたり、パフォーマンスをしたり、変わったクリスマスソングを歌ったりします。たいていは夜通しはしご酒をしています。わたし

は去年アメリカのオレゴン州ポートランドで、サンタコンに参加しました。今年も東京のサンタコンに参加しようと思っています。日本のサンタコンではゴミ清掃などの良い行いをすると言いました。東京サンタコンについての詳しい情報は次のサイトをご覧ください。
<http://www.santarchy-om/Welcom.html>

